

平成 26 年度 観光部 予算概要

□ 予算総額

商 工 費	335,716千円	(前年度当初 338,817千円)	前年度比 99.1%
※ 労働費	16,795千円	(前年度当初 41,735千円)	前年度比 40.2%

□ 主要施策

■ 1 誘致宣伝の充実 104,565千円

国内外における各種誘致宣伝活動などの強化・充実を図るほか、北海道新幹線の開業を見据えた観光プロモーション活動や函館ブランドの確立など、効果的な観光PRを戦略的に展開する。

(1) プロモーションの推進 75,491千円

北海道新幹線の開業を見据えた観光プロモーション活動を展開するほか、函館～大阪線や函館～名古屋線の利用促進プロモーションを実施する。また、国外においてはタイ・台湾へのトッププロモーションのほか、東南アジアからエージェントやメディアを招へいし、商談会等を実施する。

観光客誘致宣伝経費	71,741千円
◇ 観光宣伝印刷物等作成経費（観光パンフ・ポスター作成等）	15,956千円
◇ 国内観光客誘致強化宣伝広告経費	30,500千円
（北海道新幹線の開業を見据え、JRとの連携、地方紙や旅行雑誌等への記事掲載など開業告知を強化し、効果的な集中キャンペーンを実施）	
【新規】（函館～大阪線の利用促進を図るため、関西圏での効果的なプロモーションを実施）	
（函館～名古屋線の利用促進を図るため、「旅まつり名古屋」出展など、名古屋周辺でのプロモーションを実施）	
（道内中核6都市による道内周遊促進など誘客連携事業を実施）	
◇ 観光キャンペーン実施経費ほか	9,502千円
（首都圏・東北地区等観光プロモーション実施経費ほか）	
◇ 海外観光プロモーション実施経費	11,083千円
（トッププロモーション（タイ・台湾）の実施）	
【新規】（タイ・インドネシアから旅行会社・メディアを招へいし、地元観光事業者との商談会等を実施）	
【新規】（タイ人観光客誘致のため、函館観光の情報発信ツールとしてタイ語カレンダーを制作）	
【新規】（海外メディア等に向けた函館画像ライブラリを制作）	
（JR北海道が主催する外国人個人旅行者（FIT）向けプロモ-	

ションへ参画)
 (北海道観光振興機構の海外プロモーションへの参画)
 (タイのFITフェアに出展参加)
 (北東北3県北海道ソウル事務所商談会参加など)

◇ 海外観光客誘致促進協議会負担金 4,700千円

ツインシティ交流事業費 3,750千円

◇ 青森ねぶた祭り参加経費 3,100千円

◇ 青函観光宣伝協議会負担金 650千円

(2) 観光情報の提供 12,640千円

観光ポータルサイト関係経費 12,640千円

(観光情報サイト「はこぶら」の一層の充実を図りながら、管理運営を行う)

(3) 函館ブランドの確立 16,434千円

函館のブランドイメージ「歴史」「景観・街並み」「食」にスポットをあてた各種施策に取り組み効果的なPRを行う。

地域ブランド形成推進費 16,434千円

(航空会社(JAL, ANA, AIR DO)とタイアップし、効果的なプロモーションを実施)

(函館が持つ魅力や価値を表現するロゴマークの普及促進を図るため、商標登録の拡大などを実施)

(はこだてMOMI-Gフェスタの開催ほか)

■ 2 観光資源の充実 65,345千円

(1) 新たな観光資源の創出 5,720千円

団体型から個人・小グループ化など観光形態の変化に対応し、函館ならではの「まちあるき」による観光を推進するルートづくりやマップ作成、イベントの実施のほか観光客の満足度実態調査やハラル対応研修会の開催などの取り組みを行う。

観光資源創出経費 5,720千円

(GWなどにまちあるき観光の臨時受付窓口を開設)

(観光客に対して函館観光の満足度実態調査を実施)

(外国人観光客の受入体制強化と通訳人材の拡大を図るため、通訳スキル向上セミナーを開催(中国語))

(外国人観光客に安全・安心な函館観光を楽しんでもらうため、「指指しメニュー表」を活用したリーフレットを作成)

(東南アジアのイスラム文化圏からの観光客受入のため、飲食店や宿泊施設を対象としたハラル対応研修会を開催)

【新規】 (サイクルツーリズムの実施に向けた研修会の開催ほか)

(まちあるきイベント「てくてくはこだて」開催、まちあるきマップ作成、まちあるきガイドセミナーの開催ほか)

(2) イベントの充実 59,625千円

観光行事関係経費 53,625千円

(函館港まつり, はこだてクリスマスファンタジー, はこだて冬のイベント
ほか)

【新規】 五稜郭築造150年祭開催補助金 6,000千円

■ 3 広域観光の充実 13,096千円

連泊型滞在観光を実現させるための各種広域観光事業を展開する。

滞在型観光促進費 636千円

(みなみ北海道, 青森を含むはこだて圏の滞在型観光の促進を図る)
(はこだて圏の周遊パスポートの利用促進のためのPRを実施)

- ◇ 函館・みなみ北海道グルメパーク開催負担金 7,000千円
- ◇ 函館・東北チャリティープロモーション開催負担金 3,000千円
- ◇ 青函圏観光都市会議負担金 1,500千円
- ◇ みなみ北海道観光推進協議会負担金 960千円

◆ 緊急雇用創出事業を活用(労働費に計上)

広域観光人材育成事業費 10,600千円

北海道新幹線開業により, 多くの個人観光客が来函することを見据え, 広域
観光案内のエキスパートとなる人材を育成する。

着地型観光人材育成事業費 6,195千円

広域で観光客のニーズを満たすような滞在プログラムが求められていること
から, 着地型観光を推進する人材を育成する。

■ 4 コンベンションの誘致 4,218千円

(一社) 函館国際観光コンベンション協会と連携を図りながら, 誘致活動に取り
組む。また, 平成21年度に創設したコンベンション開催補助金の周知を徹底し,
誘致活動に活用するとともに, 市内での円滑なコンベンション開催を促す。

コンベンション誘致関係経費 2,218千円

(首都圏・道央圏における誘致活動)
(函館アリーナや北海道新幹線の開業に向け, コンベンション支援リーフ
レットを作成するなど, 大規模コンベンションの誘致を強化する)
(北海道コンベンション誘致推進協議会懇談会や国際ミーティング・エキ
スポ(IME)への参加ほか)

コンベンション開催補助金 2,000千円

■ 5 ホスピタリティの向上と受入体制の充実 90,900千円

- ◇ 観光ホスピタリティ向上経費 530千円
(GW・お盆休み期間中の臨時観光駐車場開設, ホスピタリティ講演会の開催)

◇ 観光案内所（函館駅・元町）管理運営費	27,316千円
◇ まちかど観光案内所関係経費	43千円
◇ 国際観光振興機構負担金	300千円
◇ 観光拠点地区駐車場関係経費 （元町観光駐車場および五稜郭観光駐車場に係る経費）	24,837千円
◇ 観光資源施設整備費 （まちあるき休憩ベンチを西部地区に設置（4基））	2,250千円
◇ 旧イギリス領事館（開港記念館）管理委託料	325千円
◇ 写真歴史館管理委託料	8,637千円
◇ 観光施設維持管理費	26,662千円

■ 6 フィルムコミッション事業の推進 2,423千円

映画やドラマなどのロケの支援や誘致に取り組む。

はこだてフィルムコミッション関係経費	2,423千円
◇ ロケーション誘致・支援推進費	423千円
◇ 函館港イルミネーション映画祭開催補助金	2,000千円

■ 7 その他 55,169千円

◇ はこだてグルメサーカス開催経費	13,000千円
◇ 函館国際観光コンベンション協会補助金	34,400千円
◇ その他所要経費	7,769千円